火之神保有地利活用に関する基本構想（概要版）

火之神保有地利活用に関する基本構想の策定については、市が抱える課題を踏まえ、地域の価値向上、市民参画、持続可能な運営モデルを確立することを目指しました。

火之神保有地は枕崎のにぎわいの創出を担うべき場所であり、地域全体の成長を促す「ハブ」として機能させることが求められます。

「市民や地域の皆さんがこのエリアを共に育む主体であってほしい。」という想いを込めて、基本構想を策定しました。

基本構想

地域とともに成長し、人々が関わり合いながら、人・文化・産業を未来へ育み、進化し続ける共創の空間

枕崎市の地域資源や人の力を生かし、市民・事業者・行政・市外からの訪問者が一体となって関わりながら、「地域とともに、持続的に成長する拠点」の実現を目指します。

基本構想を支える4つの基本方針

エリアのコンテンツ方針

〈 どのような中身か 〉

①地域資源の利活用促進の場

枕崎市特有の地域資源を最大限に利活用し、文化・産業・観光・健康を融合させた魅力的な空間を創出

- a.ヒト・コト・モノ全ての要素を絡めた地域価値の提供
- b.地域ネットワークの拡充による資源価値の向上

連携

②付加価値のある体験磨き込み

枕崎ならではの価値を体験できる仕組みを整え、国内外観光客の需要の掘り起こしを実施

- c.ここにしかない「ならでは」の魅力づけ
- d.デジタル技術の利活用による来訪者・運営側の双方にメリット

エリアの運営方針

〈 どのように進めるか 〉

③市民・民間事業者と共創し続ける場

市民や民間事業者とともに継続的に成長していく「進化型の空間」として設計

- e.市民・民間事業者発の参画型運営
- f.地域主導で関与し続ける成長型エリア

連携

④持続可能な運営モデル

柔軟なエリア形態・運営モデルを採用し、財政負担を抑えながら収益性を確保し、公共性とのバランスを取る仕組みを構築

- g.柔軟なエリア形態
- h.収益性と公共性のバランス